

2019年8月

親鴨会会長 内池正名

親鴨会 2019年8月メッセージ

梅雨が明け、いよいよ夏本番です。酷暑に向かい合い「年相応」という言葉を思い浮かべて過ごしています。

今年度もいろいろな集まりに参加していますが、日本アイビーエムの山口社長がある会合で Alumni(卒業生)という言葉を使って、OB/OG との連携の価値を語っていたのが印象的でした。

多くの親鴨会会員が IBM 在職中に培った知識と経験に加えて、学び直しで得た知見を活用しながら、様々なボランティア活動・社会貢献活動を行っています。振り返れば、入社時に教えられた七つの信条の一つである「社会への貢献」の実践だと思ひ当たります。

このような一人一人の努力をもう一步進めて、今回「親鴨会会員は社会にどう貢献していけるのか」というテーマで天城ホームステッドに集い、仲間の活動経験を共有し、更に充実した貢献活動を展開するきっかけを作りたいと考えました。

加えて、IBM との連携という意味についても、技術・ビジネス面や社会貢献面から IBM の現状を正確に知ることによって我々の活動の深化や広がりを生み出していくためのヒントを見つけたいと思っています。

親鴨会会員の一人一人が、IBM の Alumni であることに誇りを持って、常に成長し続けるためにも今回のワークショップがその一助となれば幸いです。天城ホームステッドに思い出を持つ会員も、天城は初めてという会員も今回の一泊二日という限られた期間ですが充実した、親睦の時間を過ごしてください。

日本アイビーエムの協力を得て、今回のセミナーの実現に至りました。副会長の下野さんを初め、エグゼクティブ・プログラム、社会貢献等の皆さんに感謝します。そして、毎年こうしたワークショップを開催することで、一人でも多くの会員の理解を深めて行くとともに、継続の価値を確かめて行きたいと思っています。

会員の皆さんの参加を期待しています。